



Seamless, Energy, Relations & Activation

未来のエネルギーネットワークをデザインする
“SERAカンパニー”へ！

東光高岳グループ 2027年3月期 第2四半期

決算補足資料

2026年10月30日

東証プライム市場（6617）

代表取締役社長 一ノ瀬 貴士



2026年度 第2四半期 決算概要

1. 2026年度 第2四半期 業績概要・事業セグメント構成比 ＜対前年同期比較＞

- ・事業セグメント構成比
- ・売上高の状況
- ・利益の状況

2. 配当の状況

3. 受注高の状況

【参考資料】

2026年度 第2四半期 各事業セグメントの状況 ＜対前年同期比較＞

1. 2026年度 第2四半期 業績概要



<対前年同期比較>

当社は、第1四半期に引き続き、当中間連結累計期間においても、過去最高の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益を達成することができました。

- 連結売上高につきましてはG Xソリューション事業が減少したものの、計量事業、光応用検査機器事業の増加により、**49,960百万円（前年同期比3.2%増）**となりました。
- 利益面では、売上高の増加に伴い、**営業利益3,761百万円（前年同期比10.5%増）、経常利益3,814百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益6,987百万円（前年同期比219.3%増）**といずれも増益となりました。
- なお、当第2半期連結会計期間において賃貸用ビルを売却したことに伴い、**固定資産売却益5,400百万円及び修繕引当金戻入額1,335百万円**を特別利益として計上しております。

（単位：百万円）

	2026年度 第2四半期(A)	2025年度 第2四半期(B)	増減 (A)-(B)	前年比
売上高 ※	49,960	48,400	+1,559	+3.2%
営業利益	3,761	3,404	+356	+10.5%
経常利益	3,814	3,575	+239	+6.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	6,987	2,188	+4,799	+219.3%
※ うち東京電力パワーグリッド殿向け売上高	22,024	19,702	+2,322	+11.8%
パワーグリッド殿向け売上高構成比	44.1%	40.7%	+3.4%	+8.3%
受注高	64,652	56,203	+8,449	+15.0%

1. 2026年度 第2四半期 業績概要

－事業セグメント構成比（2026年度第2四半期売上高）－



光応用検査機器事業セグメント

三次元検査装置など

1% (1%)

不動産賃貸

その他の事業 1% (1%)

G Xソリューション事業セグメント

7% (10%)

エネルギーマネジメントシステム（EMS）関連（マンション、テナント向け自動検針システム、照明・空調の省エネ制御システム、スマートグリッド向けシステム）、充電インフラ（電気自動車用急速充電器）情報関連機器、プロポーザル関連事業など

【連結子会社】
株式会社ミントウェーブ

電力機器事業セグメント

55% (56%)

電力プラント機器（プラント一式取り纏め、大型変圧器、開閉装置、制御装置、断路器）、
配電機器（開閉器、小型変圧器、配自用制御器）、受変電設備の工事など

【連結子会社】
タカオカエンジニアリング株式会社
タカオカ化成工業株式会社
東光器材株式会社

2026年度第2四半期
売上高
セグメント構成比
499億円
(484億円)

() 内は2025年度第2四半期売上高構成比

計量事業セグメント

36% (32%)

スマートメーター、スマートメーターアセンブリセンター(SMAC)、
取引用変成器、計量工事（電力メーター取替工事）など

【連結子会社】
ワットラインサービス株式会社
蘇州東光優技電気有限公司
東光東芝メーターシステムズ株式会社

1. 2026年度 第2四半期 業績概要

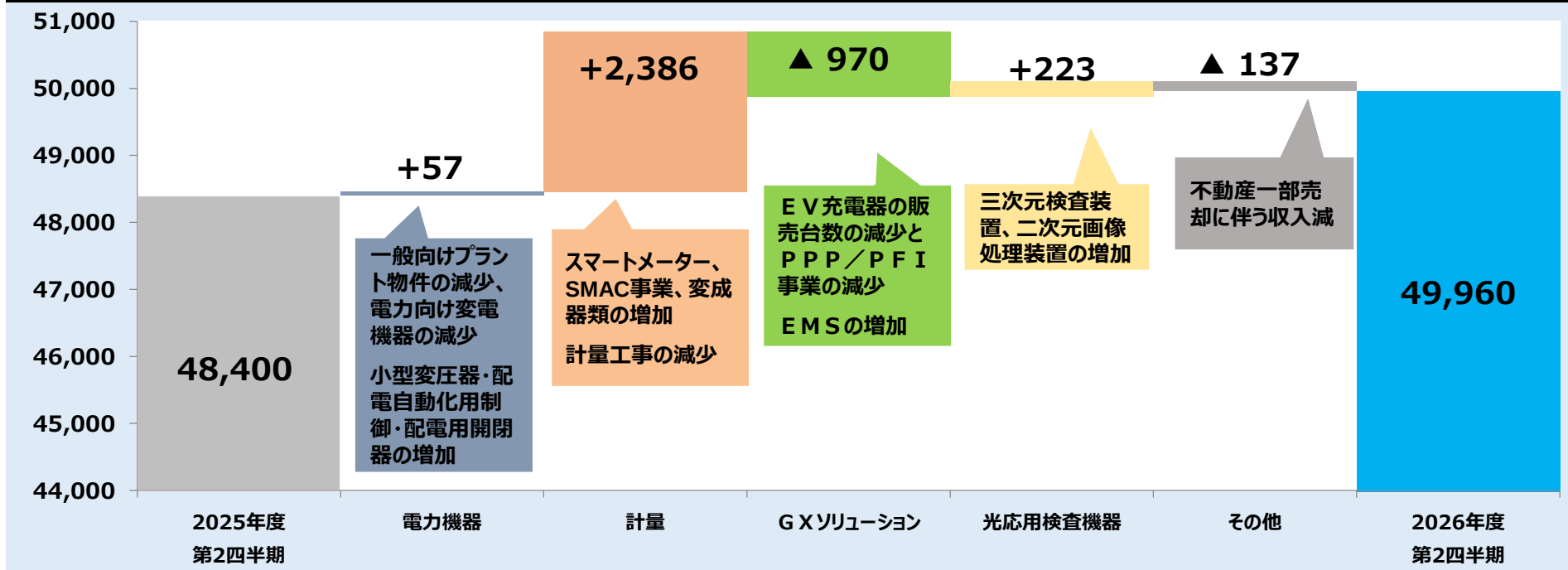
－ 売上高の状況 <対前年同期比較> －



【セグメント別 売上高】

(単位：百万円)

セグメント名		2026年度 第2四半期		2025年度 第2四半期		前年比	
		金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業		27,491	55.0%	27,434	56.7%	+57	+0.2%
計量事業		18,218	36.5%	15,832	32.7%	+2,386	+15.1%
G Xソリューション事業		3,492	7.0%	4,462	9.2%	▲ 970	▲ 21.7%
光応用検査機器事業		403	0.8%	180	0.4%	+223	+124.2%
その他の事業（不動産賃貸）		353	0.7%	490	1.0%	▲ 137	▲ 28.0%
セグメント別売上高 合計		49,960	－	48,400	－	+1,559	+3.2%



1. 2026年度 第2四半期 業績概要

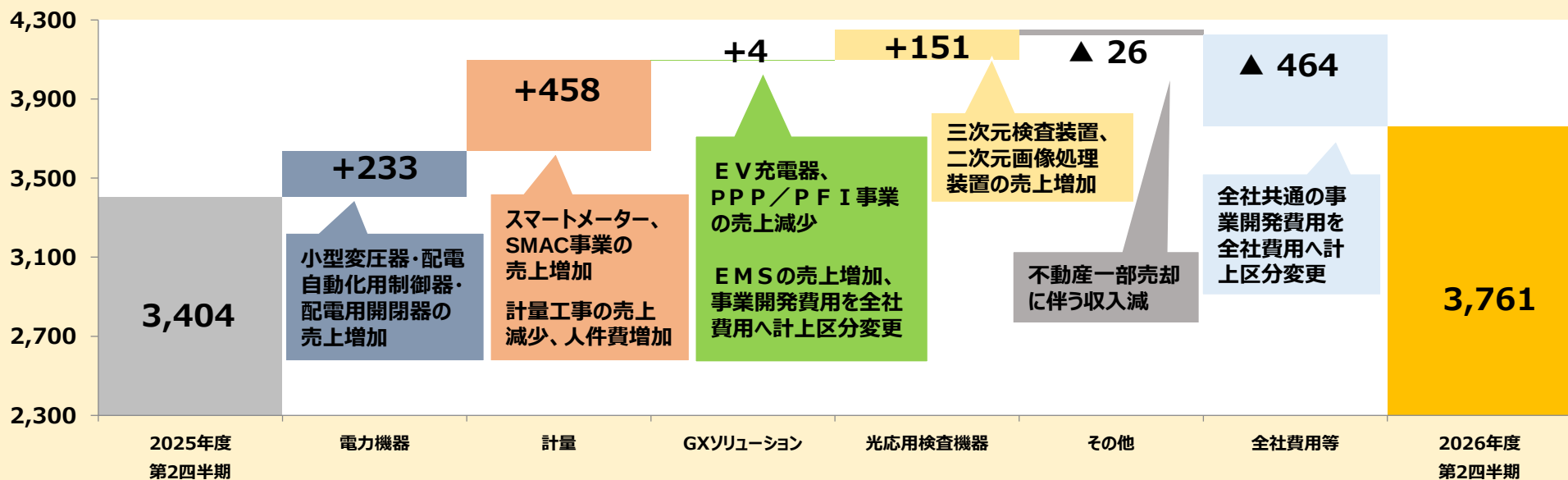
－ 利益の状況 <対前年同期比較> －



【セグメント別 利益】

(単位：百万円)

セグメント名		2026年度 第2四半期		2025年度 第2四半期		前年比	
		金額(A)	利益率	金額(B)	利益率	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業		4,329	+15.7%	4,096	+14.9%	+233	+5.7%
計量事業		2,725	+15.0%	2,267	+14.3%	+458	+20.2%
G Xソリューション事業		▲ 375	▲ 10.8%	▲ 380	▲ 8.5%	+4	+1.2%
光応用検査機器事業		▲ 41	▲ 10.4%	▲ 193	▲ 107.4%	+151	+78.3%
その他の事業（不動産賃貸）		295	+83.5%	321	+65.6%	▲ 26	▲ 8.3%
セグメント別利益 合計		6,932	+13.9%	6,111	+12.6%	+821	+13.4%
全社費用等（連結調整含む）		▲ 3,171	－	▲ 2,707	－	▲ 464	－
営業利益		3,761	+7.5%	3,404	+7.0%	+356	+10.5%



2. 配当の状況

- 配当金額につきましては、配当方針(2025年4月策定、2026年4月変更)に基づき、『業績連動型・連結ベース配当性向40%』を目安として決定することとしております。
- 2027年3月期配当予想については、期初に公表した配当予想（年間配当額：1株当たり134円）から変更はありません。

	1株当たり配当金額		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円銭 67.00 円	円銭 67.00 円	円銭 134.00 円
今回予想	円銭 67.00 円	円銭 67.00 円	円銭 134.00 円
当期実績	円銭 67.00 円		
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	円銭 37.00 円	円銭 83.00 円	円銭 120.00 円

3. 受注高の状況

【電力機器事業】 特別高圧受変電設備において蓄電所向けの大型案件の受注を確保したことに加え、道路向け高圧受変電設備更新工事を集中的に受注したこと、また、配電機器では配電自動化用制御器の出荷が増加したことから、前年同期比で**3,205百万円**の増加となりました。引き続き、データセンターや蓄電所向けの特別高圧受変電設備を重点ターゲットとし、事業性・収益性を重視した確実な受注獲得を進めてまいります。

【計量事業】 スマートメーター分野においては、SMAC（スマートメーターアセンブリセンター）の本格稼働や生産ライン刷新によるコスト競争力の強化を背景に、第2世代スマートメーターの全電力会社向け受注拡大により、出荷が順調に進捗しました。また、変成器分野においても来年度以降に納入予定の案件の受注を確保し、前年同期比で**3,514百万円**の増加となりました。引き続き、スマートメーターと変成器を両輪として受注の積み上げに取り組んでまいります。

【GXソリューション事業】 PPP／PFI分野では自治体・公共施設向けLED照明更新案件の受注により前年同期比で増加となったものの、電気自動車用急速充電器の受注が半減以下の落ち込みとなっており、セグメント全体としては前年同期比で**619百万円**の減少となりました。急速充電器の受注は今後も厳しい状況が予想されますが、PPP／PFI分野等で引き続き受注確保に取り組んでまいります。

【光応用検査機器事業】 三次元バンプ検査装置では、AI向けを中心とした先端ロジック半導体需要の拡大を背景に、国内向け大型案件の受注に加え、海外新規顧客からの初受注を獲得しました。また、DRAM向け検査工程におけるアライメント需要の拡大を背景に、二次元画像処理装置の受注が大幅に伸長し、前年同期比**2,486百万円**増加しました。引き続き、引合い案件の受注確保に取り組んでまいります。

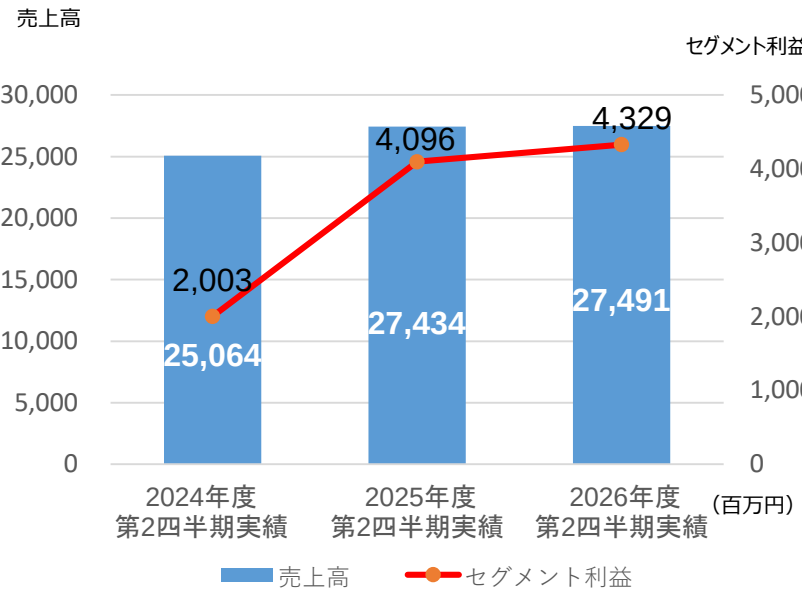
(単位：百万円)

	2026年3月末 受注残	2026年度 第2四半期		2026年9月末 受注残
		受注高	売上高	
電力機器事業	67,458	35,973	27,491	75,939
計量事業	5,960	19,952	18,218	7,693
GXソリューション事業	2,437	5,641	3,492	4,586
光応用検査機器事業	898	2,732	403	3,226
その他の事業	—	353	353	—
連結計	76,754	64,652	49,960	91,446
前年同期比	—	+8,449	+1,559	+9,867

2025年度 第2四半期	
受注高	増減
32,767	+3,205
16,437	+3,514
6,261	▲619
245	+2,486
490	▲137
56,203	+8,449

【参考資料】2026年度 第2 四半期 各事業セグメントの状況

<対前年同期比較>



電力機器事業セグメント

	2026年度第2 四半期 実績(A)	2025年度第2 四半期 実績(B)	増減 (A) - (B)	前年比 (%)
売上高	27,491	27,434	+57	+0.2%
セグメント利益	4,329	4,096	+233	+5.7%

売上

【増加要因】 電力向け小型変圧器・配電自動化制御器・配電用開閉器、海外シエラレオネ向け変電案件

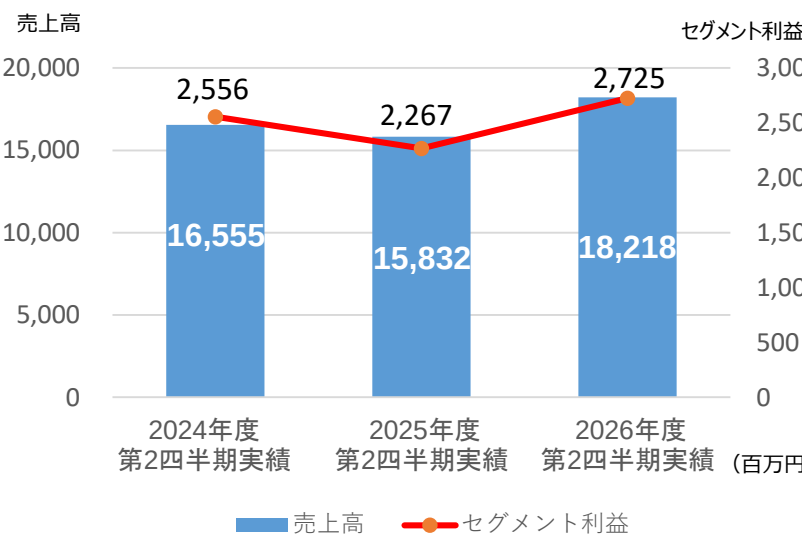
【減少要因】 一般向けプラント物件（※主に再エネ向け）、電力向け開閉装置・断路器・保護制御装置

利益

【増加要因】 小型変圧器 大容量器販売台数の相対的な増加、配電自動化制御器・配電用開閉器 販売台数増加

【減少要因】 一般向けプラント物件は売上案件差異により利益影響は軽微

※一般向けプラント物件は、当第2四半期で対前年比売上減となっておりますが、通期ではおおむね前年度並みとなる見通しです。



計量事業セグメント

	2026年度第2 四半期 実績(A)	2025年度第2 四半期 実績(B)	増減 (A) - (B)	前年比 (%)
売上高	18,218	15,832	+2,386	+15.1%
セグメント利益	2,725	2,267	+458	+20.2%

売上

【増加要因】 スマートメーター、SMAC事業、変成器類

【減少要因】 計量工事

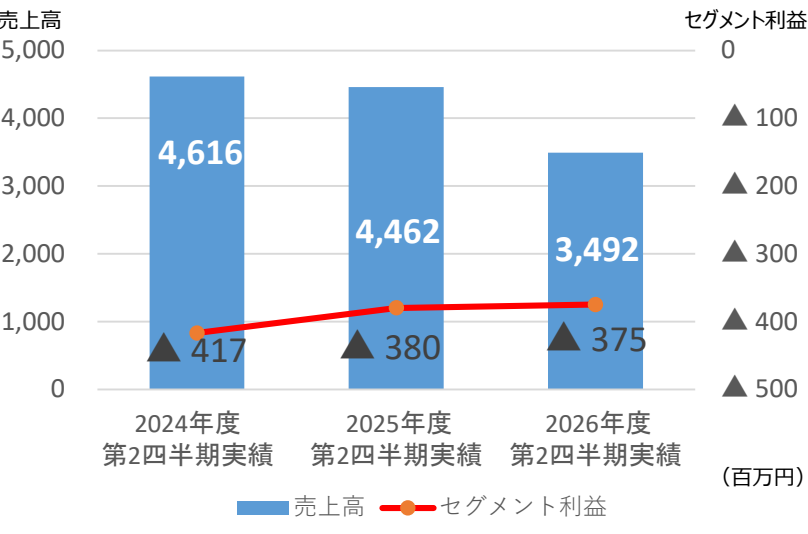
利益

【増加要因】 スマートメーター、SMAC事業、変成器類の売上増加

【減少要因】 計量工事の売上減少、および工事要員の人件費増加

【参考資料】2026年度 第2 四半期 各事業セグメントの状況

<対前年同期比較>



G Xソリューション事業セグメント

(百万円)

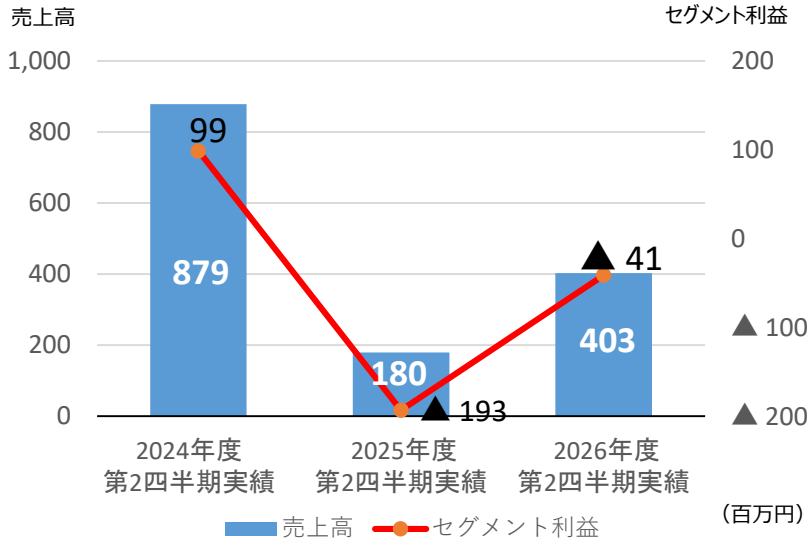
	2026年度第2 四半期 実績(A)	2025年度第2 四半期 実績(B)	増減 (A) - (B)	前年比 (%)
売上高	3,492	4,462	▲ 970	▲ 21.7%
セグメント利益	▲ 375	▲ 380	+4	+1.2%

売上

【増加要因】 EMS
【減少要因】 EV充電器、PPP / PFI 事業、クライアントソリューション事業

利益

【増加要因】 EMSの売上増加、研究開発費減少、事業開発費用を全社費用へ計上区分変更
【減少要因】 EV充電器、PPP / PFI 事業の売上減少



光応用検査機器事業セグメント

(百万円)

	2026年度第2 四半期 実績(A)	2025年度第2 四半期 実績(B)	増減 (A) - (B)	前年比 (%)
売上高	403	180	+223	+124.2%
セグメント利益	▲ 41	▲ 193	+151	+78.3%

売上

【増加要因】 三次元検査装置、二次元画像処理装置
【減少要因】 -

利益

【増加要因】 二次元画像処理装置、三次元検査装置の売上増加
【減少要因】 -